



大好き かたびら

令和8年 4月 7日
横浜市立帷子小学校
校長 梅田 佳美
学校だよりNo.1 4月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/katabira>

『新たな挑戦』

校長 梅田 佳美

春のやわらかな日差しとともに、新しい学年がスタートしました。

今年度も、学校目標である『大好き かたびら 輝く 笑顔』の実現をめざし、子どもたちの毎日が笑顔で満たされる学校づくりに取り組んでまいります。そのための新たな挑戦として、本校では複数の教員が協力して学級を支える“チーム担任制”を、学年の発達段階に応じて進めていきます。子どもたち一人ひとりの学びや育ちが多様化する中、複数の教員がさまざまな視点で関わることで、よりきめ細やかな支援が可能になると考えています。

今年度は次のような体制で、学級経営と子どもたちの学習を進めてまいります。

〇1年生

学校生活のスタートに不安なく慣れることを最優先とし、学級担任が変わらず、毎日を安心して過ごすための土台作りに力を注ぎます。外国語活動と音楽では、専門の教員が指導にあたります。

〇2年生

単級であるため、主担任が生活全般を見守りつつ、副担任と共に学級経営を行います。複数の教員が関わることで、子どもたちの変化に早く気づき、必要な支援をしやすい体制を整えます。特に算数では、学級を二つに分けたり、複数の教員が一つの教室で学習をサポートしたりします。外国語活動と音楽は1年生同様専門の教員が指導にあたります。

〇3・4年生

3人の教員がローテーションで各学級に入り、朝の会・給食・帰りの会を担当します。教科は3人で分担し、算数は学年全体を3つのグループに分けることで、少人数の丁寧な指導を行います。複数担任ならではの多面的な支援が可能になります。また、音楽、書写、外国語活動は専門の教員が指導にあたります。多くの教員でサポートいたします。

〇5・6年生

2人の担任がどちらの学級にも入るローテーション制とし、学年全体で子どもたちを見守ります。教科担当制で授業を行うことで、高学年として必要な学力や思考力や専門性を生かして育てていきます。また、外国語、音楽、家庭科、図工、書写は専門の教員が指導に当たります。中学校に向けて教科担当制の授業への緩やかな移行も視野に入れていきます。

“ひとりで抱えず、チームで子どもを支える”ことは学校の安心感と子どもたちの学びの充実にもつながると考えています。保護者の皆様にもぜひこの新しい取り組みにご理解とご協力をいただき、共に子どもたちの笑顔と成長を支えていければ幸いです。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。